

ブックステーションはびきのコロセアム ☎ 937-7210(火・木・金曜日 13:30~16:30) ブックステーション青少年児童センター ☎ 952-0032(月~土曜日 9:00~17:00)
古市図書館 ☎ 958-0050(水~日曜日 10:00~17:30)

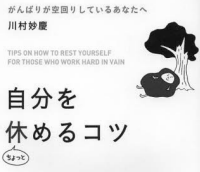
読んでみませんか?

~新刊案内~

おはなし会

『自分をちょっと休めるコツ』

川村 妙慶 / 著 大和出版



「逃げ出してみる」「役に立たないことをやる」「掃除を楽しむ」がんばっているのに、うまくいかない。そんなあなたに贈る、ちょっぴり楽に生きるための59のヒント集。

『Team・HK』

あさの あつこ / 著 徳間書店



引っ込み思案で、何の取り柄もないと思っていた主婦・美菜子。ハウスキーピングの会社で働き始め、愉快的仲間たちに恵まれて、その隠れた才能を開花させていきます。

『おちゃのじかん』

土橋 とし子 / 作 佼成出版社



マテ茶、ロシアンティー、ミントティー、チャイ、日本茶。世界のおいしいお茶と、「お茶の時間」の楽しみがたくさん詰まった絵本です。

『とっておきの標語』

村上 しいこ / 作 PHP研究所



つよしの班の宿題は、喧嘩中のクラスの女の子2人を仲直りさせる「標語」を作ること。いいアイデアが浮かばないつよしは、当事者の言い分を聞きに行きますが…。

- | | | |
|------------------------------|---------|---------------------------------------|
| 5月 5日(日) | 陵南の森図書館 | 14:00 |
| 5月 8日(水) | 東部図書館 | 10:30 |
| 5月11日(土) | 羽曳が丘図書館 | 15:00 |
| 5月12日(日) | 陵南の森図書館 | 14:00 |
| 5月18日(土) | 陵南の森図書館 | 15:00 |
| 5月18日(土) | 古市図書館 | 15:00 |
| 5月18日(土) | 羽曳が丘図書館 | 15:00 |
| 5月19日(日) | 陵南の森図書館 | 11:00(小さい子向き)
11:30(少し長いお話を聞ける子向き) |
| 5月25日(土) | 丹比図書館 | 10:30 |
| 5月5日(日)、12日(日)、19日(日)、26日(日) | 中央図書館 | 13:30 |

ストーリーテリング入門講座

講師 おはなしの森の皆さん
日時 5月27日・6月3日・10日・24日(月)10:00~12:00(4回の連続講座のため、全て参加ください)
場所 LICはびきの 2階 中会議室B
定員 20人(先着順・定員になりしだい締め切り)
申込 中央図書館にて受付(電話可)
主催 羽曳野市立図書館、羽曳野市子ども文庫連絡会

蔵書点検などのため、次のとおり休館いたします。

- ★中央図書館、東部図書館、丹比図書館の休館
5月20日(月)~5月24日(金)、5月30日(木)~31日(金)
- ★陵南の森図書館、羽曳が丘図書館の休館
5月25日(土)~5月31日(金)
- ★古市図書館、ブックステーションはびきのコロセアムの休館
5月30日(木)~31日(金)

サラダボール

しょうがく ねんせい むすこ がっこう しゅくだい
小学2年生の息子が学校の宿題で、
まいにち ものがたり し おんぶく をしています。
毎日、物語や詩の音読をしています。
なか わたし す し かな
その中で、私の好きな詩があります。金
こ わたし ことり すず
子みすゞさんの「私と小鳥と鈴と」です。

わたししょうて
私が両手をひろげても、

そら と
お空はちっとも飛べないが、

と ことり わたし
飛べる小鳥は私のように、

じべた はや はし
地面を速くは走れない。

わたし
私がかからだをゆすつても、

おと で
きれいな音は出ないけど、

な すず わたし
あの鳴る鈴は私のように

うた し
たくさんな唄は知らないよ。

すず ことり わたし
鈴と、小鳥と、それから私、

みんなちがって、みんないい。

しゅつてん かな こ ぜんしゅう しゅつばんきよく
(出典:『金子みすゞ全集』(JULA 出版局))

わたし し し
私たちは知らず知らずのうちに、子

どもを他のこと比較し、また、「男の
こ子なのに」「女の子なのに」と、子ども
に対して棒をはめてしまっている
かも知れません。子ども一人ひとりの
よ わる とくい
の良いところ、悪いところ、得意な
こと、不得意なことは様々です。「そ
この子らしさ」がきっとあります。

せんじつ むすこ たんにん せんせい はな
先日、息子の担任の先生からお話し
を聞く機会がありました。小学校で
開催されたマラソン大会の日、並走
していた二人の男の子のうちの一人
がゴール間際に「お前が先に行け。」
と、もう一人の男の子の背中を押した
シーンがあり、その様子を見た同
じクラスの女の子が「そんなのも、
とてもいいなと思った。」と絵日記に
記したそうです。その二人の男の子
は最後尾に近いところを走っていま
したが、二人で励ましあいながらゴ
ールをめざしていたようです。背中
を押したのは息子で、ゴール間際に

とも せなか お とも 勇気
友だちの背中を押して、友だちを
づけ、応援したとのことでした。走り
は決して早くないけれど、友だちを思
うその優しい気持ちが良いところだと、
息子「その子らしさ」を、同じクラ
スの女の子に受けとめてもらえたよう
に感じました。

「その子らしさ」は人それぞれです。
一人ひとり、きらりと光る何かを、誰
もが必ず持っていると思います。子ども
たちがお互いにその光を尊重し、大人
も子どものことを一人の人間として認
めることで、その光はもっと輝くので
はないでしょうか。そして、その光は、
子どもたちだけでなく、全ての人が持
っていることも忘れてはいけないと思
います。

「みんなちがって、みんないい。」
いつも心に留めておきたい、私の好き
なフレーズです。

はびきの し じんけんけいはつすいしんきょう ぎ かい
羽曳野市人権啓発推進協議会